



謹賀新年

第一部 センター運営



八王子市長

八王子市

シルバー人材センター
名誉会長

初宿 和夫

あけましておめでとうございませう。八王子市シルバー人材センターの皆様に迎えられました。健康やかな新年をお慶び申し上げますとともに、旧年中は市政に対して格別のご支援を賜りましたことに、厚くお礼申し上げます。この間、八王子市シルバー人材センター名誉会長として昨年6月の定時社員総会への出席や、各種イベントに出展された会員の皆様の姿を拝見する中で、八王子市シルバー人材センターの組織力の高さと生きがいづくりにかける情熱を感じ、改めて敬意を表します。八王子市では、子育て世帯への支援強化策として大横保健福祉センター内に新たに(仮称)「子ども家庭センター」を設置することといたしました。そのため、貴センターにご協力いただき、事務室を旧横山事務所施設へ移転して

いただくとともに、更なる機能拡充のためJR八王子駅周辺へのサテライト施設設置準備を進めてまいります。

本年2025年は、昭和でいうと100年になり、いよいよ団塊の世代が後期高齢期に入ります。高齢者を取り巻く環境は、少子高齢社会による担い手の不足のほか、単身世帯の増加、ライフスタイルの多様化などにより、課題が複雑化・複合化しています。

このような課題の解決には、貴センターの活動が大変重要な役割を持ちます。皆様は、今までの経験や培われた能力を活かし、簡易的な業務から専門的な知識や技能が求められるものまで、数多くの就業を通じて地域社会に貢献されています。

八王子市としても、こうした皆様の活動を支えるため、施設の充実のほか、八王子市職員との定期的な情報交換などにより、新規会員獲得や民間企業への受注開拓といった、貴センターの経営課題の支援を進めてまいります。

結びに、新年が八王子市シルバー人材センターと会員の皆様にとりまして素晴らしい一年になりますよう祈念申し上げます。



八王子市
シルバー人材センター
会長 園部 正範

会員の皆様、明けましておめでとございます。

「一年の計は元日にあり」といいますが皆様何か計画を立てられたでしょうか。些細な事でも計画を立てて実行する事は大切なことです。世界の中の幾つかの紛争は収まらず、胸を痛めることが続いています。早期の解決が望まれます。

さて、当シルバー人材センターの大きな課題である事務所移転も、昨年10月に市当局と合意書を取り交わし大筋が固まり、今年3月に移転する予定となりました。(参考おあるり11月号)細かなことはこれから詰めることになりましたが、決まり次第伝えていきます。

今年度も事故が多く傷害事故は20件、賠償事故は4件起きています。就業時に各ルールを守ることは勿論ですが、それでも事故を起こしてしまうことがあります。皆様お出掛けの際はセンスを上げ、注意力を高めて事故を回避するよう努めてください。「安全第一」をもう一度強く意識

してください。

一昨年から業務安全委員会が中心になって幾つかの職種班で就業後にお客様の声を聴いています。ほとんどが感謝の声です。がたまに注文・クレームの類もあります。お客様の考え違いによるものもありますが我々も真摯に受け止め、より良い就業に生かす手立てにしています。これからお客様にとって喜ばれる就業となるよう会員の皆様と努めていきたいものです。

当シルバー人材センターの行事・ボランティアはいろいろありますが、単に就業するだけでなく他人のため社会のために汗を流す行為は人として持つ素晴らしい能力です。会員の中にはボランティアそのものに疑問を持つ方もいるようですが、ぜひ他人のために汗を流す喜びを共にしてください。

昭和51年に高齢者事業団として産声を上げてから令和8年度に50周年となります。記念行事をするため「50周年事業実行PT」を立ち上げました。今後の活動にご注目ください。

今年一年が会員の皆様に健康で幸多きシルバーライフでありますよう祈念いたします。



八王子市
シルバー人材センター
常務理事 大西 健一

新年あけましておめでとございます。会員の皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨今、シルバー人材センターを取り巻く環境は大きく変化しています。

日本の高齢化率は毎年向上し、高齢者の労働力の活用は、日本の将来を左右する重要な課題となつていますが、定年延長や再雇用制度の広がりにより、高齢者人口は増えているにもかかわらず、シルバー人材センターの会員数は減少し、会員の平均年齢は上昇しています。これにより、より高齢の方への仕事の確保や安全な就業環境維持などシルバー人材センターに求められる役割も変化してきております。

さらに、様々な制度変更が進んでいます。昨年は、11月にフリランス新法が施行されましたが、本年4月には公益法人制度改革に基づく法令が施行され、外部理事・外部監事の設置が義務付けられるなど、よりガバナンスの向上が求められます。また、

令和8年10月には経過措置による消費税率が5%になり、それと関連して、厚生労働省が進める「新しい契約方法」への移行について検討や準備が必要となつていきます。公益法人として、このような制度変更に対応し適切な運営を図ることは重要です。

事務所移転については、昨年10月に合意書の取り交わしにより、令和5年度以来の八王子市との協議が調いました。一時的な移転という面はありますが、当センターの事務所は旧八王子市横山事務所に移転し、令和7年は、新たな事務所における八王子市シルバー人材センターのスタートの年となります。これを契機として、役員の皆様、会員の皆様とともに、社会状況の変化や制度改正に対応しつつ、就業先の確保や健全な財務運営の維持に努め、より一層高齢者のニーズにあったサービスを提供する新たな一歩を進めていきたいと考えています。よろしくお願ひいたします。

結びに、令和7年が、皆様にとってよい1年となるよう祈念いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。

常任委員会

総務委員会

委員長 浅原 ユリ子

「令和6年を振り返って」

令和6年は移転問題の終着がどのようになるのか、不安定な状況でした。令和6年10月末に旧横山事務所にて令和7年3月、移転することが決まり、それからの半年間で引越準備となります。交通の不便もありますが自社ビルを持つておりませんので、令和6年を振り返り、移転を協議・検討する事になります。

「令和6年の取り組み」

①八王子市シルバー人材センターのデジタル環境整備に向けての取組

・令和6年1月からペーパーレス化の検討を開始し、紙の削減を開始した

・フリーランス新法の就業条件明示に伴い会員のスマスマ登録促進の研修会開催

②移転と財務改善の大課題の中、資金繰りが厳しく、より就業拡大と業務の効率化が必要

・就業拡大に特化したプロジェクトチームの立ち上げ、就業率向上に取り組み

・事務の効率化（年会費の自動振替等）

・「おおるり」の郵送意向調査を踏まえホームページやスマスマの利用促進を促し、会員の利便性の向上を図る

③会員の品質向上に向けた各種研修会（1年目・3年目研修・職種班研修）

・会員にとって有意義な研修会の開催

④情報伝達の重要な媒体としての「おおるり」の全会員への周知

・八王子市デジタルトランスフォーメーション（DX）推進計画に則りデジタル化を推進する

・八王子市シルバー人材センター5か年計画におけるIT化を促進し、事務効率の向上を図る

・会員との情報共有が不可欠であり、スマートフォン等の活用によるデジタル化が会員の就業上の一助となる

・スマスマの会員向けサービス（おおるり・就業情報・配分金明細・就業条件明示）がタイムリーに閲覧可能

⑤誰一人取り残さない情報の共有化

・スマホ等のデジタル機器使用講習会を開催し、きめの細かい支援を提供

⑥個人情報管理の適切な管理

・昨今の頻発している犯罪に利用されぬよう八王子市シルバー人材センターの情報セキュリティ要綱を遵守し、情報流出が起きないよう活動を行う



業務安全委員会

委員長 杉浦 茂樹

あけましておめでとございませう。

今回は、この紙面をお借りして、昨年11月に我々の上部団体である東京しごと財団の訪問巡回を受けた時の事をご紹介したいと思います。

この訪問巡回は、毎年計画されており、指導員の方が1名こられて、午前中は、作業現場を視察され、午後は、その講評と当センターの安全に関する活動状況を確認されるというスケジュールとなっております。

当日は、植木班の作業現場を2ヶ所視察され、2ヶ所とも、指導員の方が「指摘事項がないなあ」とぼやかれるほど、作業の段取りをされておられ、また指導員の方への対応も的確で、同行した委員長としても頼もしく思いました。

とは言うものの、午後の講評時には、当センターの事故発生時の統計データを示され、植木作業での事故も多く発生しているし、ここ3、4年は、事故発生件数が右肩上がりとなっており、この対処も必要との厳しい指導もありました。反面、今年度から植木班で取組んで頂いている「KYチェックシート」の活用について、他のシルバーで実施しておらず、植木班のみならず他の職種にも展開してほしいとお褒めの言葉も頂きました。グループ作業では、KY活動を取組やすいが、一人作業では、自身の頭の中で確認することがほとんどで、一人作業もチェックシートを活用する事でより確実な取組となるとの指導もありました。

一人作業をされている皆さんも、改めて頭の中だけでなく、チェックシート（メモ書きでも可）により目でも確認して頂く取組を是非お願いしたいと思います。

最後に指導員の方から、事故の発生原因は、体調不良とか悩み事等で作業に集中出来ていなかったことがほとんどであり、自ら自己管理を心掛ける事が一番の対策であると述べられて、巡回指導を終えました。

この最後の一言、「自己管理（適度な運動・睡眠時間の確保等）を常に意識して事故のないシルバーライフを過ごして行きましょう。」

広報委員会

委員長 黒田 茂夫

今年度の広報委員会は認知率アップに向けて取り組んでおります。

施策第一は、目に触れる広報PRの9月に新聞へのチラシ折り込みを実施し、八王子市の多くの家庭に届けました。シルバー君ロゴマーク、シルバーロゴ入りビブス製作はこれからです。

第二は、エゴたわしに次ぐ新グッズとして「ポチ袋」をきさらぎ小委員会で作りました。各種イベント等の催し物で活用しております。

第三は、JR八王子OPAにおいて多くの市民の皆様の目に触れるようイベントを12月、2月に開催いたします。さらに会員の皆様にも声をかけする時に使っていただけのように、入会案内のポイントQ&Aに絞った小さな三つ折りガイドブックを製作しました。

元気な高齢者が増え、生き生きと働いたり、活動できる環境、場の一つにセンターがあることを知っていただくよう、継続して会員の皆様と共に広報活動に取り組んでまいりたく、ご支援ご協力をお願いいたします。



地域委員会

委員長 岩澤 孝嗣

よりよいシルバー人材センターに向けて、地域委員会は、会員や地域連絡員の活性化や、地域との連携の強化に向けて諸活動を進めています。

地区活動としては、地域連絡員による年4回ほどの地区会議、一般会員による地域懇談会や新入会員交流会を開催し、地域連絡員の情報共有化、連携強化や、会員の地区内、地域班内の交流促進をはかっています。

また、地域連絡員研修会を適宜実施し、研修のねらいである地域連絡員の任務、役割の確認、会員とのコミュニケーション力の向上などに取り組み、地域連絡員の相互研鑽、地域班の更なる活性化を進めています。

地域との連携では、市施設の環境整備ボランティア、浅川清掃やいちよう祭りの清掃ボランティアなどに多数の会員が参加して地域の美化に貢献し、また夢街道駅伝ボランティア、流鏑馬ボランティアなど各地のイベントに参加、イベントの遂行に協力しています。さらに各地の市民センター祭りに参加し、シルバー人材センターのPR活動や新入会員の勧誘活動を実施しています。

引き続き地区活動や地域との連

携活動を進めて参りますので、会員の皆様、地域連絡員各位の積極的な参加をよろしく願っています。



事務局だより

事務所移転のお知らせ

いよいよ令和7年の3月より旧横山事務所に事務所移転いたします。

現在、移転に向けて市や同居するボランティアセンターと最後の調整を行っています。

これまでより交通アクセスが悪くなるため、会員の皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解のほどよろしく願っています。就業報告書などの提出についてはこれまで同様に大横保健福祉センターのポストが利用できる他、八王子駅前のクリエイティブホール地下もサテライト施設として運用する予定となっておりますので、是非ご利用ください。

下に新事務所の地図を掲載いたします。なお、電話番号とFAX番号に

		交通アクセス JR西八王子駅（北口）より徒歩約22分 西東京バス バス停「桑志高校」より徒歩約15分 京王バス バス停「横山中学」より徒歩約10分
利用者用駐車場 有 台数は現在調整中		つきましては現在未定となっております。決まり次第、会員の皆様にお知らせいたします。



第二部 会員中心

会員だより

私の生きがい

守屋 信明

(会員番号 8071)

「この度、「生きがい」への寄稿の機会を賜り、大変光栄に存じております。

経験と年数を重ねること、その思いは年々強くなっています。

いま、保育園での屋内清掃を主とした仕事をさせて頂いております。園児たちの元気な声に迎えられ、保護者の方達に「おはようございます。」と声掛けをしながら仕事はじまります。

先生方は、一瞬たりとも気を抜けない緊張の連続の中「いつも綺麗にして下さって有難うございます。」と気遣って下さり「今日も一日頑張ろう」と益々仕事に気合が入ります。

そんな日々、「仕事をさせて頂けるのはシルバー会員のお陰、会員になってよかった」と感謝の気持ちで一杯です。

これから、この気持ちを

忘れずに与えられた仕事に誠心誠意努力していきたいと思っております。



生涯現役

田島 弘康

(会員番号 13097)

現在、都立滝山公園で清掃作業を担当しております。作業は三本柱になっており、トイレ清掃、山道のブローアー掛け、ゴミ拾いが主な作業です。

その昔、滝山公園は城があった所です。そのため、アップダウンが多い地形となっております。勤務年数は1年半程になります。四季折々の景色を見ながら、仕事をしてきました。仕事と言うより体力づくりの感じですね。

「こんにちは」「こんにちは」利用者の方と交わす言葉は、心の励みになります。「トイレ綺麗ですね。」「有難うござい

ます。」そんな一言で癒されます。

半年前程からセンターの紹介で新しい仕事にもつきましました。自分は生涯尽きる迄、現役でいたいと考え活動しております。



公衆トイレの

清掃をしています

内田 正己

(会員番号 13118)

八王子駅北口及び元横山町公衆トイレ清掃を掛け持ちで担当しています。

北口は5名(女性2・男性3)、元横山町は3名(女性2・男性1)で、北口はリーダー、元横山町はスタッフとして就業中です。

メンバー間の日程、事務連絡、気づきや工夫などの情報交換は、LINE、電話、用具入れ内にメモ等を掲示して行

つています。両チーム共、皆さん前向きで、人生経験を活かした工夫もされ、気持ちよく作業に取り組むことができています。

清掃開始時は、「臭いが強い(特に“だれでもトイレ”)、見えない所が清掃されていないなあ」という印象でした。臭い＝汚れなので、便器の裏側、小便器の尿石、壁・天井の清掃、“だれでもトイレ”のドアは清掃中開放しておく等で臭いは殆どなくなり、両トイレ共「とてもきれいになったね。」とのうれしい声が頂けるようになりました。また、個人的には清掃作業はプチ筋トレ、往復1時間の自転車通勤は有酸素運動で健康寿命の延長になると考えて取り組んでいます。



「絹の道資料館管理業務」 就業にあたって

池田 康人
(会員番号 12788)

桑都八王子の生糸商人や製糸・養蚕の歴史と文化を伝える「絹の道資料館」(平成2年開館)の管理業務を令和4年10月から担当中です。事前知識がないままの就業開始でしたが、先輩管理人の皆さんに親切に教えていただきサポートが出来ました。

4名での交代制で勤務しますが、日々は1人で就業する職場ですので、早期の独り立ちに加えて4人でのチームプレーや作業分担が大事だと言えます。

絹の道資料館敷地内には、遺構や屋敷跡地などの文化財に加え、芝生地や桜、梅、楓、桑の木、山茶花、サツキの植え込みが多く自然に囲まれた環境です。気候の良い時期には、山里歩きのハイキングチームや小中学生の課外授業の団体も訪れてにぎやかになります。日々の作業は、開館から閉館までの資料館全般の管理で

すが、年間を通して広い敷地内の除草と落葉清掃へ注力し、来館者に居心地の良い施設として過ごしていただければ嬉しく思います。



テニスは楽し

石森 久雄
(会員番号 11834)

富士森テニスコートの管理人をしています。受付の際に短い会話を通して利用者の方が楽しくプレーが出来るよう心掛けています。また、木陰で休憩している方と僅かな時間ですが、会話を試みております。

ボールをラケットの真ん中でしっかりと打てた時の感触、そして家族や友人、スクールで知り合った仲間など、年齢に関係なく、また地域の人たちとのコミュニケーションをやることのできる場所にテニスの楽

しさがあると皆さんお話ししています。

テニスは卓球やバドミントンと同じネットをはさんだ競技ですが、より広い範囲での運動は、「スイング&ラン&ストップ」の連続で、全身を使ったスポーツであり、心肺機能の向上、また、プレイ中、相手への行動を予測する動きが頭の中で回転するため、脳の活性化にも有効となります。

利用マナーとして最低限守っていただきたいことは、時間に遅れる場合は電話を入れる、センターバルトを外したら元に戻す、クラシックを借りたら返却する等です。



心の張りつめりと健康寿命

出居 宏

(会員番号 8465)

春夏秋冬、八王子の自然の変化を味わいつつ現在の仕事を4人体制で始めて1年を超える事が出来ました。就業場所は神奈川県との境に接する自然豊かな地域で広大な庭園を持つ洋館風の結婚式場・催場・レストランです。

仕事の内容は催事の準備作業で会場の設定をシステムティックにベテラン社員の指示のもと作業をしています。①機械洗浄した銀食器・グラス類の磨き作業②宴会ごとの食器類のセッティング準備③宴会部屋でのテーブル・舞台等の会場内セッティング④テーブルごとの食器類のセッティング等々多岐にわたっています。

正確さと時によりスピードが要求されるため、緊張感を保ちつつ働いています。多少、疲れる面はあるものの特に肉体的な疲労は気持ちのいいものでフレイル対策としては打って付けと思います。

天気の良い日に春は路傍の

すみれ、夏はひぐらしの鳴き声、秋は山柿や山もみじの紅葉など四季折々の自然を堪能しながら体力・気力を催事し、結果を出せる限り生涯現役を地で行きたいと思っています。



健康第一で

井口 春美

(会員番号 13219)

東浅川保健福祉センターのお仕事に就いて1年になります。

私の仕事は3階にある「憩の場」で、カラオケ・ヘルストロム・囲碁・将棋とお風呂(水・木・金のみ)の受付業務と入室管理です。

私はいつも心がけていることがあります。それは皆様が気持ち良く利用頂けて、また来たいと思つて頂けるような対応をすることです。お迎えをする際には元気に声をかけ、お帰りの際には「また来てくださいね。」「気を付けてお帰り下さいね。」などの言葉を添えるようにしています。

今の仕事は、以前の仕事で学んだ接客業の経験を活かすことができるので、とてもやり甲斐を感じています。そして何よりも、私は人と接することが大好きなので、いろいろな方と出会え、お話が出来ることに喜びを感じ、たくさん元気を感じていることにも感謝しています。

これからも「健康第一」で出来る限りこのお仕事を続けていきたいと思っています。



保育園業務

近藤 正博

(会員番号 11271)

現在、みなみ野保育園で業務を担当しています。業務内容は、1時間の落ち葉拾い等の清掃作業とその後の1時間半の園児を迎えに来られる保護者さんへの駐車案内です。月に10日の勤務で勤務年数は4年になります。

落ち葉拾い作業は何処でも同じと思われませんが、頑張り過ぎると腰を痛めるので、その点を注意して行っています。

駐車場案内は駐められる台数が少ないため、時には確認のため小走りが必要な作業になります。

長年担当していると保護者の方々とも親しくなつて短い会話も出来るようになり、それも一つの楽しみです。多くの皆さんに「ありがとうございます。」と挨拶されることが多く、疲れも飛んでしまいます。

その様な業務ですから、体にも精神的にも健康に役立ちそうと感じており、出来れば80歳位まで継続しようと考えています。

シルバー人材センターに入会して

石合 幸雄

(会員番号 13283)

あれから1年が過ぎようとしている。

晩秋の「つどいの森公園」を散歩していたところ、ユニフォームを着用した同じ年頃の方が公園内の清掃をしていたので、声をかけると「シルバー人材センターに所属して就業している。」との返事。私が興味を示すとシルバーの概要を教えてもらえたので、さっそく登録手続きをすることができました。

常々自由な時間ができたときは社会との係わりが持てる活動をしたと思うていましたので大変幸運でした。「準備された心にチャンスは降り立つ」の名言は本当でした。

現在は大学内の管理業務と広報の配布を行っています。大学内の管理業務では若者と接することがあり、エネルギーをもらって充実した日々になり、広報の配布物があるときに妻がサポートしてくれ、二人三脚で取り組んでいます。

シルバーから2つの業務を請けていますが、当初はできるかなと戸惑いと不安がありましたが、同一業務をしている方々に支えられながら1年が経過し、ようやく生活のルーティーンになってきました。年を重ねると家から出ることが少なくなり、その事が認知症の引き金になると言われています。そんな不安を払拭のシルバー人材センターだと私は思っています。



レクレーション 高尾山頂・有頂天

大久保 文二

(会員番号 3658)

第388回高尾山に登る会に今回も勇躍参加した。

1号台風も静まり、快適な登山日和、途中、花盛りの素晴らしい「セツコク」を仰ぎ見て昼頃に頂上に着いた。座る場所を捜している、もう昼食も済んだ一団が快く席を空けてくれた。立ち上がるうとした女性に我々の会の一人が私を指さして「此の人は90歳だよ。」と、「うあー素敵、私は61歳、一緒に写真を撮らせて。」スマホでパチリ、写った画面を2人して暫く眺めた。

爽やかな女性の顔と皺だらけで締まらない有頂天な男の顔がそこにあった。ハイタッチしてすぐに別れた。その手を初夏の風が優しく撫でて行った。高尾山はやっぱいいねー。

八王子市シルバーの皆様、登る会の皆様、いつも有難う御座います。



編集後記



秋の当会の活動も盛会裏に終了いたしました。会員の皆様に多数参加していただき、誠にありがとうございました。

本号では様々な職種に就業されている会員の皆様の声を集めました。

これから会員の皆様の声や活動を幅広くお届けしてまいります。(富山)